

将来の夢を話したら、  
お母さん、困るかな。  
進学したいって言ったら、  
お父さん、なんて言うかな。



震災から1年。日々の学用品購入をためらう子ども、進学を躊躇する子どもたちがまだまだたくさんいます。  
あなたの募金で、「子どもの学び」を応援してください。

## ユネスコ協会就学支援 奨学金

東日本大震災で経済的に就学が難しくなった児童・生徒は約73,000人<sup>※</sup>といわれています。

日本ユネスコ協会連盟ではこれまで1,588人に奨学金をお届けしてきましたが、まだまだほんの一部に過ぎません。

支援拡大のために、みなさまの継続的なご協力をお願いいたします。(※文部科学省調べ)

「ユネスコ協会就学支援 奨学金」は、岩手、宮城、福島の3県で教育委員会と協働し、  
就学困難な子どもたちに毎月2万円の奨学金を給付していく取り組みです。



公益社団法人  
日本ユネスコ協会連盟

## 子どもたちは夢に向かって、がんばっています。

自宅とお父さんの会社は津波で流され、  
その後、おじいちゃんとおばあちゃんが病気になるしました。  
お父さんもお母さんも震災からずっと休み時間もながんばっています。  
だから私たち、いつも元気な顔でいようと決めました。  
姉の夢は看護師、妹の夢はイラストレーター。  
大好きな家族が見守ってくれるから、夢に向かって進みます。

(宮城県気仙沼市小学校6年生の女の子)



自宅が津波で流され、3部屋のアパートに家族6人で住んでいます。  
ずっと女手ひとつで僕たち兄弟を育ててくれ、震災後もがんばり続ける  
お母さんのために、建築士になって家を建ててあげたい。  
それが僕の夢です。

ユネスコ協会 就学支援奨学金の支援を受けて、  
4月から専門の高校に進みます。

(宮城県石巻市中学3年生男子)

※奨学金を給付している子どもたちの映像をWEBでご覧ください。

## まだまだ支援を必要としている子どもたちがいます。 ご協力をお願いします。

### 「ユネスコ協会就学支援 奨学金」給付について

- 対象者 津波による家屋流失、失業、そのほかの理由により、著しく経済状況が悪化した家庭の小中学生及び中学生。
- 名称 ユネスコ協会就学支援 奨学金
- 対象地域 岩手県、宮城県、福島県の3県で自治体を特定して実施。
- 支援期間 3年間(2011年12月以降、随時)
- 支援金額 原則として毎月2万円(給付)



### 月1回・定額で〈月1・いいことプログラム〉

右のお申し込みハガキにご記入の上、返送ください。  
後日、口座振替申込書を送付いたします。

毎月定額(1,000円から)を自動的に募金していただくプログラムです。毎月継続してご協力いただくことは、子どもたちの未来を支えるために大きな力となります。

ご協力方法

#### 【銀行振り込みの場合】

三菱東京UFJ銀行神田支店 (普)02 97 275 名義(シャ)ニホンユネスコキョウカイレシメイ  
※窓口の場合、送金手数料は別途となります。  
日本ユネスコ協会連盟は、内閣府から「公益法人」の認定を受けています。この認定により、当協会連盟へ寄附された場合、寄附金控除を受けることができます。

#### 【クレジットカードの場合】

WEBサイトから直接お申し込みいただけます。  
詳しくは、<http://www.unesco.or.jp>をご覧ください。

お申し込み・お手続きは簡単です。

お電話で **03-5424-1124** 9:30~17:30 (土・日・夜間休)

インターネットから

ユネスコ

検索